

URL <http://aomori.lin.gr.jp>

畜産協会だより

Vol.32

発行
一般社団法人 青森県畜産協会

新年のご挨拶

一般社団法人青森県畜産協会
会長 渡部 毅

新年明けましておめでとうございます。

平成29年の年頭にあたり、協会員の皆様および関係者の皆様から昨年賜りました協会業務の推進に係わる御支援、御協力に対し、厚くお礼申し上げます。

毎年、新年への思いを漢字一文字に託してきましたが、今年は「好」と表現しました。何かと厳しい諸情勢の中にあって関係者、とりわけ畜産農家にとって何事も「よい、素晴らしい」年であって欲しいとの思いです。

さて、去年の畜産を取り巻く情勢を振り返ってみますと、子牛価格など畜産物価格が総じて堅調に推移するなか、飼料穀物価格も安定的に推移してきました。しかしながら昨今の為替レートの変動、原油価格の上昇など、予断を許さない状況となっています。また、本県において家畜では初の高病原性鳥インフルエンザの発生がありました。一方、国においては一昨年10月に大筋合意したTPPは、昨年12月の臨時国会において承認され、併せて牛と豚の畜産経営安定対策事業（マルキン）の法制化を含む関連法案が成立しました。今後の生産基盤の強化のための対策の充実を期待したいところです。

畜産協会では、マルキン事業や畜産クラスター事業をはじめとして、畜産経営を支援するためのさまざまな事業に取り組んでいます。今後とも安全な畜産物を消費者の皆様へ安定供給するために、関係機関と一丸となって本県の畜産振興に寄与していく所存です。

結びとなりますが、今年の干支である「酉（とり）」は、「果実が成熟の極限に達した状態」という解釈に由来し、「実る」「とりこむ」という意味を持っています。協会員の皆様および関係者の皆様にとって今年一年が実り多いよい年であることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

生産者補てん金 交付状況

1. 肉用子牛生産者補給金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	乳用交雑種
保証基準価格		337,000円	307,000円	220,000円	133,000円	205,000円
合理化目標価格		280,000円	257,000円	149,000円	90,000円	147,000円
平成28年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	812,100円	764,800円	389,600円	216,700円	401,200円
	交付単価	—	—	—	—	—
	交付額	—	—	—	—	—

2. 肉用牛繁殖経営支援事業支援交付金交付状況

品種区分		黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種
発動基準		450,000円	410,000円	290,000円
保証基準価格		337,000円	307,000円	220,000円
平成28年度 第2四半期 (7月～9月)	平均売買価格	812,100円	764,800円	389,600円
	交付単価	—	—	—
	交付額	—	—	—

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（牛マルキン事業）補填金交付状況

対象区分	肉専用種	交雑種	乳用種	備考
平成28年7月期（9月交付）	—	—	17,800円	
平成28年8月期（10月交付）	—	—	26,800円	
平成28年9月期（11月交付）	—	—	47,000円	
平成28年10月期（12月交付）	—	—	41,300円	（概算払い）
平成28年11月期（1月交付）	—	2,200円	47,500円	（概算払い）

4. 牛マルキン補填金算定基礎（全国）【平成28年11月期】

区分	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,291,894円	745,764円	448,033円
生産コスト (B)	1,063,672円	753,554円	512,419円
差額 (C) = (A-B)	228,222円	△ 7,790円	△ 64,386円
暫定補填金単価 (D) = (C) × 0.8	—	6,200円	51,500円
補填金単価（概算払）(D) -4,000	—	2,200円	47,500円

注1：補填金単価は、100円未満切り捨て。注2：平成26年度より消費税抜きで算定。

5. 養豚経営安定対策事業 補てん金交付状況

	平均粗収益	平均生産コスト	補てん金単価
平成28年度 第1～3四半期 (4月～12月)	37,462円/頭	32,671円/頭	0円/頭

地方競馬全国協会からのご案内

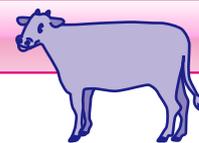
「地方競馬の馬主になりたい!」という方は、地方競馬全国協会までご連絡下さい。地方競馬の馬主登録制度についてご案内いたします。

なお、地方競馬の馬主情報については、地方競馬サイト/馬主申請Q&Aでご覧になれます。

<http://www.keiba.go.jp/>



青森県家畜市場成績（七戸）



子牛 市場成績表

【開催日 28年11月11日】

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	252	1,649,160	325,080	938,357	300	329	2,851	221	914,731	2,844	7
	雌	168	1,321,920	412,560	773,466	307	294	2,627	167	771,773	2,651	-24
	【小計】	420	1,649,160	325,080	872,401	303	315	2,767	388	853,200	2,765	2
和牛間交雑	雄											
	去	1	432,000	432,000	432,000	273	280	1,543				
	雌											
	【小計】	1	432,000	432,000	432,000	273	280	1,543				
日本短角種	雄											
	去	1	383,400	383,400	383,400	240	287	1,336				
	雌											
	【小計】	1	383,400	383,400	383,400	240	287	1,336				

・黒毛和種の取引頭数は420頭で、前回より去勢31頭増、雌1頭増、全体で32頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は872千円で、前回より去勢24千円高、雌2千円高、全体で19千円高となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	49	925,847	325	2,850	298	34	799,676	300	2,668	308	83	874,162	2,779	302	19.8
美津照重	33	935,607	330	2,833	301	15	789,840	289	2,733	311	48	890,055	2,805	304	11.4
平安平	18	917,700	335	2,743	299	19	739,004	297	2,492	315	37	825,937	2,622	307	8.8
安茂勝	24	948,555	336	2,823	298	10	748,332	297	2,521	290	34	889,666	2,742	295	8.1
幸紀雄	22	1,009,653	329	3,072	304	11	791,542	292	2,709	299	33	936,949	2,960	302	7.9
総合計	252	938,357	329	2,851	300	168	773,466	294	2,627	307	420	872,401	2,767	303	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花園」で19.8%、次いで「美津照重」11.4%となった。
 ・第一花園の平均価格は874千円で、前回に比べ23千円安となった。単価は2,779円で前回より114円安となった。

【開催日 28年12月9日】

1. 販売価格 税込み【子牛】

品 種	性	今 回 分							前 回 分			Kg単価 増減
		頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均日令	平均体重	Kg単価	頭数	平均価格	Kg単価	
黒毛和種	雄											
	去	285	1,433,160	233,280	929,126	295	322	2,892	252	938,357	2,851	41
	雌	215	1,839,240	325,080	780,689	299	291	2,680	168	773,466	2,627	53
	【小計】	500	1,839,240	233,280	865,298	297	309	2,806	420	872,401	2,767	39
日本短角種	雄											
	去	1	278,640	278,460	278,640	229	305	914	1	383,400	1,336	-422
	雌											
	【小計】	1	278,640	278,460	278,640	229	305	914	1	383,400	1,336	-422
乳用交雑種	雄											
	去	1	443,880	443,880	443,880	316	349	1,272				
	雌											
	【小計】	1	443,880	443,880	443,880	316	349	1,272				

・黒毛和種の取引頭数は500頭で、前回より去勢33頭増、雌47頭増、全体で80頭増となった。
 ・黒毛和種の平均価格は865千円で、前回より去勢9千円安、雌7千円高、全体で7千円安となった。

2. 主な種雄牛の販売価格 税込み【子牛】

名 号	去 勢					雌					合 計				
	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	体重	単価	日令	頭数	平均価格	単価	日令	割合(%)
第1花園	51	985,680	335	2,938	296	42	792,669	298	2,658	303	93	898,514	2,820	299	18.6
美津照重	30	976,068	321	3,042	293	20	737,208	287	2,569	299	50	880,524	2,865	295	10.0
安茂勝	25	884,779	322	2,745	303	18	793,320	303	2,618	295	43	846,494	2,694	300	8.6
平安平	12	911,430	312	2,918	285	25	738,245	283	2,607	302	37	794,413	2,715	296	7.4
幸紀雄	15	981,288	334	2,936	299	21	810,926	297	2,734	303	36	881,910	2,824	301	7.2
総合計	285	929,126	322	2,892	295	215	780,689	291	2,680	299	500	865,298	2,806	297	100.0

・最も取引頭数の多かった種雄牛は「第一花園」で18.6%、次いで「美津照重」10.0%となった。
 ・第一花園の平均価格は898千円で、前回に比べ24千円高となった。単価は2,820円で前回より41円高となった。

次回開催日は2月10日（金）です。

盛岡競馬ツアーを開催

青森県馬事畜産振興協議会は、広く競馬への振興を図るため、10月16日（日）に競馬ツアーを岩手県盛岡市において開催した。

今回は大人数のグループでの参加、親子連れの参加が昨年より多く、応募があった約90名の参加者は、大型バスで青森市、十和田市、八戸市の3ヶ所から出発し、盛岡競馬場へ到着後は3階の特別観覧席や屋外で迫力あるレースを楽しんでいた。

ツアーの特典として、希望者には競馬場の裏方見学ツアーを行い、馬の体重を測る馬衡所や、騎手の体重を測る検量室、レース前に出走馬を引いて観客に見せるパドックを実際に歩くなど、普段立ち入ることのできない場所を見学し、馬への興味・関心を深めていた。

また、参加者全員にクリアファイル等の競馬関連グッズの配布を行い、好評だった。



「畜産あおもり若手女子会」肉牛講座開催

9月12日（月）、つがる市で「畜産あおもり若手女子会」肉牛講座を開催した。当日は、晴れ間が広がる絶好の「女子会日和」、会員10名中8名の出席があった。最初に、放射状牧区を特徴とする屏風山牧場を視察し、続いて畜産研究所と牛改良技術部で種雄牛を見学。会員全員が初めて見る「平安平」などの基幹種雄牛の大きさにビックリ。能力や人気度など多くの質問が飛んだ。次に凍結精液の製造過程について勉強。精子の性状、分注器によるストロー注入やストロー印字機、大型凍結精液保管器など見るもの全てに感激。講座では種雄牛づくりの流れや各機関・団体の役割を学んだ外、日頃の「想い」「悩み」など会員の情報交換も行った。

「女子会」は29年度も交流会や視察研修を中心に行う予定。追加会員を募集している。

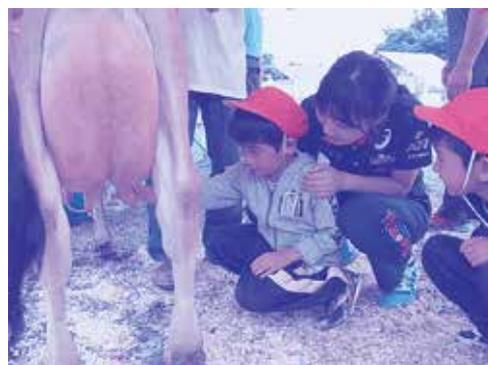


全校生徒で乳しぼり体験！

9月12日（月）、酪農教育ファームであるアビタニアジャージーファームの協力のもと、大間町立奥戸小学校の特別学習時間において、酪農体験を実施した。全校生徒47名が参加し、前半は搾乳や子牛のシャンプーなどを体験。後半は全員でバター作りをし、その後むつ家畜保健衛生所の平泉主幹が講師となり、牛の質問コーナーを実施した。子どもたちからは、「乳量はどのくらいですか」「牛の種類はどんなのがありますか」「耳標は何のためについていますか」「牛は何歳で子どもを産みますか」などの質問が出ていた。

下北地域は酪農地帯ではあるものの、大間町は漁業が基幹産業であり、牛に初めて触れたという生徒も多かった。参加したスタッフからは「このような取り組みが長い目でみると酪農後継者確保につながっていく」との意見があったほか、アビタニアジャージーファームの安原氏は「体験をさせる側も経験を積むことで、酪農ファシリテーターとしての人材育成にもつながっている。今後も続けていきたい」と話していた。

今後もこのような酪農体験を通じて、畜産後継者の育成に努めていく。



県産豚肉で楽しくソーセージ教室♪

10月22日（土）青森市のクリナップ青森ショールームにて、(株)赤石材木店との共催で「ソーセージ作り体験教室」を開催した。講師は、(一財)新郷村ふるさと活性化公社 三瀧信孝氏。消費者に安全・安心で美味しい畜産物を食べて欲しいということから、県産豚肉を使用したソーセージ作りが行われた。



午前と午後各10名ずつで作業時間1時間という内容で、ソーセージは桜チップで燻製しボイルしたもの（参加者持ち帰り用）と、渦状に巻いて焼いたものと2種類作り、親子連れの参加者もあり、腸詰からひねりまで楽しそうに作業していた。焼いたソーセージは香ばしいにおいがし適度に油が落ちて大変美味しく、参加者からも「すごく美味しい」「売っているのと全然違う」「家で作りたのでレシピを教えて欲しい」との声が上がっていた。

馬技術指導研修会を開催

馬は多様な飼養形態で飼育されており、馬疾病の基礎臨床診断技術のレベルアップが必要なことから獣医療技術の研修会を開催した。一部は青森県農業共済組合連合会 家畜診療所 福井毬華先生が2日間鹿児島大学附属動物病院で実習した内容を伝達した。先生は、牛の専門獣医師として診療しているが、馬と牛を比較した「繁殖牝馬の管理と疾病について」講演した。

二部は、一山雄二郎獣医師による「HENDERSON CASTRATING INSTRUMENTSを使った去勢術～従来の術式との比較～について」講演した。従来の去勢術式と比較した動画による説明後、実馬2頭を借上げ、一山獣医師指導のもと、参加した指定獣医師、家畜保健衛生所職員がヘンダーソン術式で去勢が行われた。牛の治療にも活用できる術式との事であり、参加者からは実馬を使い有意義な実習となり好評であった。



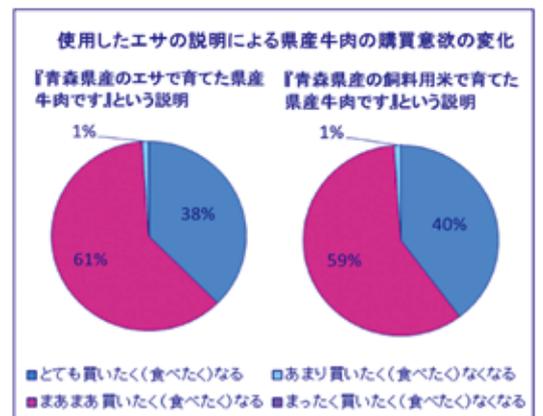
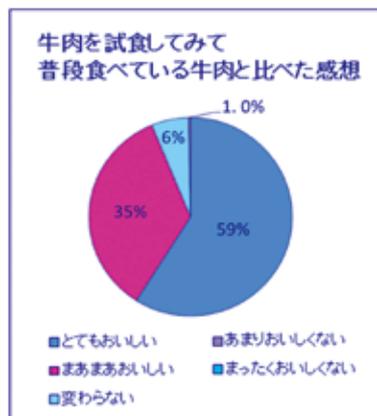
こだわりの県産牛肉 試食アンケート実施

10月15日（土）八戸地域畜産フードフェアin八戸及び11月29日（火）青森いい肉フェスティバルin弘前において、青森県産牛肉の試食アンケートを実施した。

試食牛肉は青森県産業技術センター畜産研究所で早期肥育した黒毛和種去勢牛であり、配合飼料の30%を青森県産稲SGSに置き換え、ビタミンAコントロールはせず24ヶ月齢で出荷した牛肉を使用し、しゃぶしゃぶで提供した。

等級はA-3（BMSNo.4）であったが、赤身と脂身のバランスが良く食べやすい、脂に甘みがある、などの感想があった。

本アンケートは、黒毛和種において地域飼料資源の活用や肥育期間短縮による低コスト生産技術の確立を目指した県のこだわりの県産牛肉生産推進事業の一環で実施したものであり、今後調査結果を分析し販売戦略づくりの基礎資料としていくこととしている。



平成28年度 家畜衛生表彰者

上十三地区



浜田 竹美 (はまだ たけみ)

昭和35年からの酪農経営に始まり、その後に搾乳牛50頭まで規模を拡大、平成15年から受精卵移植を活用し黒毛和種の増頭に着手し、平成18年には肉用牛の繁殖経営に移行し現在に至る。

経営においては自家産粗飼料を活用した低コスト生産とパドックの設置によるゆとりある環境での飼養管理を実践し、生産された子牛は県家畜市場においても高く評価されている。

また、昭和54年から地域の農業共済組合役員を歴任し、ゆうき青森和牛改良組合においては設立当初から現在まで理事を務め、地域畜産の指導者としても長年畜産振興に貢献している。



東北養鶏株式会社 代表取締役 蛭名 勇 (えびな いさむ)

平成12年有限会社東北養鶏場として発足、当初から採卵鶏20万羽を飼養し、徹底した衛生管理と新たなシステム導入により高品質の鶏卵を生産、平成16年には品質と安全管理を徹底するため全農系では第1号となる鶏卵トレーサビリティを取得し、平成27年3月から現在の経営に至る。

家畜衛生に対する意識が高く、鳥インフルエンザ対策として消毒ゲートや消石灰散布による消毒、来場者記録台帳の設置など飼養衛生管理基準の高いレベルでの遵守を継続するとともに、最近では、家畜保健衛生所と連携し、疾病発生時の迅速対応のための防疫対応計画の作成にも積極的に取り組むなど、地域の養鶏場の模範となり衛生管理の向上に貢献している。

むつ地区



千葉 晋 (ちば すすむ)

平成23年10月から肉用牛繁殖経営の父親のもとで研修を積み、平成25年1月から経営を引き継いだ。平成26年4月には農場名を美付ファームとし、現在は黒毛和種繁殖牛50頭を飼養している。平成28年3月に開催された第55回全国青年農業者会議プロジェクト発表(畜産部門)で、牛の皮膚病の改善に取り組んだ成果(演題名:「牛の皮膚糸状菌に対するアプローチ」)を発表したところ、青森県で初めて最高賞である農林水産大臣賞を受賞した。

また、日常の飼養管理においても飼養衛生管理基準を遵守し、疾病の発生予防のために消毒などの家畜衛生対策にも積極的に取り組んでおり、地位のリーダーとして肉用牛経営の発展に貢献している。

津軽地区



吉田 浩 (よしだ ひろし)

昭和54年に深浦町産業課職員として採用され、町養豚振興係として従事。その後、昭和63年からは中小家畜も担当し町養豚振興係として家畜共済連合会獣医師ときめ細かに町の豚防疫予防注射事業に従事された。平成元年から平成3年までは県営草地開発事業、町営宮付帯事業として追良瀬、長慶平牧場の水道、道路、畜舎等付帯施設整備事業に関わり、深浦町の肉牛増頭計画を推進した。さらに、地域で一斉を風靡した「糸徳号」の掘起し、さらに兵庫県からの種雄牛「菊丸号」導入などに関わり、平成8年全国和牛登録協会認定「深浦町和牛改良組合」設立に奔走してきた。

町直営中核畜産施設である追良瀬牧場において、平成5年から繁殖牛20頭飼養し地域一貫型肥育・150頭規模、年間70頭の肥育牛を出荷・販売し、「深浦牛ブランド」を存続させてきた。一方、平成25年6月に深浦畜産農業協同組合に指定管理委託された後も、追良瀬牧場を拠点とした畜産の本拠地とすべく、時代を担う地域リーダーとして、現在まで和牛改良業務の推進や家畜保健衛生所が行う家畜防疫指導の円滑化等、深浦町の畜産振興に寄与されてきた。

特に高齢化が進む町内畜産農家のため、率先して子牛登記申請や市場上場等に係る事務手続きの窓口や、産業課内にあっては課長補佐として県事業の取りまとめ役として尽力されてきた。

このように、これまでの吉田氏の功績は、深浦町の畜産振興において高く評価されるものであるのみならず、同町の今後の畜産発展には不可欠な存在となっている。

第4回青森県はちみつ品評会開催

10月18日（火）、青森市のアピオあおもりにおいて、青森県畜産課、青森県畜産協会、青森県養蜂協会の役員等、計18名の審査員によりはちみつ品評会審査会が行われた。

審査は、アカシアの部・トチの部・その他の部の3部門で50点の出品があり、糖度・色沢・風味の項目で審査を行い、この合計点数で順位を決定した。

また、各部門の最優秀賞に特別賞を授与することとし、協議の結果、今年はトチの部の最優秀賞に青森県知事賞を、アカシアの部の最優秀賞に県畜産協会長賞を、その他の部の最優秀賞に県養蜂協会長賞を授与することとなった。

今回の受賞者は以下のとおりで、平成29年1月23日に開催される青森県養蜂協会通常総会内で表彰式が行われる。

	アカシアの部	トチの部	その他の部（蜜源花）
最優秀賞 （特別賞）	鳥谷部 学 （県畜産協会長賞）	藤村 晴彦 （青森県知事賞）	藤田 勲（シナ） （県養蜂協会長賞）
優秀賞	赤坂 憲一	澤谷 昭	澤谷 昭四郎（うつぎ）
優良賞	藤村 晴彦	一二三 ゆう子	鈴木 俊宏（さくら）
		鳥谷部 良作	



第10回あおもり堆きゅう肥品評会開催される

畜産堆きゅう肥の生産技術向上とその利活用の促進を目的とした、当協会主催の「あおもり堆きゅう肥品評会」が多くの畜産関係者のご協力により今年で10回目を数えた。県内各地から26点の出品を頂き、厳正な審査の結果、つがる市の「秋元ファーム」が知事賞を受賞した。

表彰式は12月14日（水）青森市の国際ホテルにおいて、青森県主催の「安全・安心な農産物生産推進大会」と併催で執り行われた。

- 1 審査委員長：畜産研究所酪農飼料環境部長 根城 伸悦
- 2 堆肥出店数：26点
- 3 優秀賞：6点（土づくり系堆肥3点、肥料系堆肥3点）
- 4 知事賞：1点（優秀賞の中から1点）

知事賞

- ・秋元ファーム（つがる市）

部門別受賞者

「土づくり系優秀賞」

- ・秋元ファーム（つがる市）
- ・（株）RF青森牧場（十和田市）
- ・（一社）東通村産業振興公社（東通村）

「肥料系優秀賞」

- ・（有）トキワ農場（東北町）
- ・（有）中月産業（八戸市）
- ・（有）飯田養豚場（横浜町）



第14回 あおりモーモー母ちゃんの集いを開催します

1. 開催日時 平成29年3月8日(水) 11:00~15:00 (10:30 受付開始)
2. 開催場所 まかど観光ホテル
(青森県上北郡野辺地町字湯沢9 電話0175-64-3131)
3. 参加費 2,000円(昼食代含む)

4. 講演 「強い子牛は胃袋づくりから」
講師：(地独) 青森県産業技術センター畜産研究所
和牛改良技術部 研究管理員 阿保 洋一 氏

相談コーナー

- 畜産なんでも相談コーナー
- プチセラピーコーナー

《タイムスケジュール》

10:30~11:00	受付
11:00~11:10	開会のことば
11:10~12:10	講演
12:10~15:00	交流会(昼食含む)
15:00	解散(自由解散になります)

お申し込みは2月20日(月)まで (お問合せ 経営支援課 電話017-723-2775)

ビルの上にいる牛が目印です。



MAP



一般社団法人 青森県畜産協会

〒030-0822 青森県青森市中央二丁目1番15号(畜連ビル)

総務課 Tel(017)723-2523(代)
経営支援課 Tel(017)723-2775

価格安定・衛生課

Tel(017)722-4331(衛生)
Tel(017)718-3809(価格)

FAX (017)731-1196

URL <http://aomori.lin.gr.jp> E-mail info@aomori.lin.gr.jp